

議会運営委員会行政視察（概要）

1 観察日

令和8年1月15日（木）～16日（金）

2 観察項目（観察都市）

- ・議会映像配信システム及び議会運営について（鳥取市）
- ・議会改革の取組及び議会運営について（津山市）

3 参加委員

委員長：下野 巍 副委員長：松本 泰典

委 員：川口 元気、円藤こずえ、西野 貴治、西本 瞳子

議 長：福丸 孝之 副議長：大村 卓司

4 調査概要

鳥取市では、議会映像配信システム及び議会運営については、導入の経緯として、令和元年に庁舎の移転に伴う新庁舎の建設に合わせ、議会中継用のモニター室を整備し、手話通訳の導入も同時に行なった。AIを活用したリアルタイム字幕と常時手話通訳を実施しており、中継のアクセス数にもその効果が表れているということであった。

津山市では、議会改革の一環として近年開始した「ギカイラジオ」の取組を行なっており、市議会への関心を高めるため、声の広報を動画配信形式で行なっている。企画・作成は広報調査特別委員会において行なっており議会の手作りで費用はほぼゼロということが特徴である。



5 委員長所感

鳥取市では、議会改革検討委員会でテレビ中継への手話通訳の配置等に対し調査をされ、手話通訳付き中継映像、AI字幕表示の取り入れに至った。開かれた議会を念頭に取り組まれた経緯には万全な市民対応が感じ取れた。また、議会改革検討委員会の組織が議長の諮詢を的確に把握され、開かれた議会に対する委員間での取組みにかかる意思の強さと議会の風土が改革の意志の強さであると感じた。

津山市では、YouTubeを活用し、声の広報を「ギカイラジオ」として広報調査特別委員会で作成し議員が会派当番制で出演し、配信されているものである。議会改革として、市民目線で開かれた議会を基に議会活性化調査特別委員会の組織機能は十分に発揮されていると感じた。

本市でも開かれた議会を目指し本会議のネット配信は実施しており、他の分野についての広報手法を研究中だが費用対効果も見極め、市民サービスに努めていきたい。